

新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う経済対策を含む 補正予算案などを原案可決、教育長人事案を原案同意

第4回定例会

主な議案の審議内容

令和4年第4回定例会を6月3日から6月23日までの21日間の日程で行い、市長より議案5件が上程され、いずれも原案のとおり同意・可決し、議員が提出した議案2件についても、原案のとおり可決しました。

令和4年度鹿角市一般会計補正予算(第4号)
当初2力年で計画していた庁舎等照明のLED化を単年に前倒した理由は、

質問 電気使用量削減のため、早期に実施したいが、財源を理由に2力年としていたところ、国の地方財政対策に公共施設の脱炭素化の取り組みが盛り込まれ、それに伴う財源確保が可能となった。

答弁 電気使用量削減のため、早期に実施したいが、財源を理由に2力年としていたところ、国の地方財政対策に公共施設の脱炭素化の取り組みが盛り込まれ、それに伴う財源確保が可能となった。

本定例会に提案された議案等の審議結果については、一覧を次ページに掲載しています。

なお、本定例会において、同意された案件は次のとおりです。

人事案件
○教育長
阿部 義弘 氏(新任)

人事案件
○教育長

阿部 義弘 氏(新任)

答弁 令和2年度に、観光誘客のための事業計画などを盛り込んだ八幡平魅力アップ構

質問 国立公園八幡平魅力アップ事業について、当初予算で先送りした事業費を補正計上した理由は、

答弁 現在把握している見込で追加計上しており、今後増加する可能性もあるが、不足が生じた場合などは都度、補正などにより対応していく。

想を策定し、昨年度基本設計を行ったものの、事業費や管理運営体制について慎重な議論が必要と判断し、当初予算の計上を見送ったが、詳細な調査をしながら、今後のハード整備につなげるため、今回予算計上した。

◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書

◆地方財政の充実・強化に関する意見書

会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担割合を引き上げること等を求める意見書を提出する。

◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書

《提案理由》学校現場における様々な課題や新型コロナウイルス感染症対策に伴う新たな業務も発生している中、子供たちの豊かな学びや教職員の働き方改革を実現するために、教職員定数改善や少人数学級の実現が不可欠であることから、計画的な教職員定数改善等の推進や教育の機

《提案理由》地方公共団体には、脱炭素化を旨とした環境対策や行政のデジタル化推進など、より新しく、かつ極めて多岐にわたる役割が求められつつあるが、新型コロナウイルス対策や近年多発している大規模災害への対応も迫られている中で、地方財政における財源確保には大きな不安が残されていることから、2023年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すことを求め、意見書を提出する。